

科目名	体育実習 II		
担当教員	西館 潤		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
2	通	1	23
履修目的・授業概要			
<p>作業療法士にとって必要な体力を養う。          集団行動の中で必要なスキルアップを図る。          リーダーシップや企画力を養う          将来、高齢者や障害者に対する体操や運動の助言につなげられるよう、運動についての知見を深める。</p>			
到達目標			
<p>作業療法士にとって必要な体力を養うとともに、体操やストレッチ等の運動についての理解を深める。          集団行動やリーダーシップをとる経験をする。</p>			
授業の形式・方法			
体育館や屋外での体育実習形式			
成績評価の方法・基準			
授業への参加状況およびノート提出状況による判定			
学生へのメッセージ			
<p>集団での体育活動を通して、今後必要なチームワークやリーダーシップを養います。体調不良等については十分留意した状況下で行います。</p>			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
なし			

コマ	履修内容	教員
1	体力測定（シャトルランなど）	西館
2	運動(天候等の状況をみながら体育館および屋外での体育種目を実施。)	西館
3	運動(天候等の状況をみながら体育館および屋外での体育種目を実施。)	西館
4	運動(天候等の状況をみながら体育館および屋外での体育種目を実施。)	西館
5	運動(天候等の状況をみながら体育館および屋外での体育種目を実施。)	西館
6	運動(天候等の状況をみながら体育館および屋外での体育種目を実施。)	西館
7	運動(天候等の状況をみながら体育館および屋外での体育種目を実施。)	西館
8	運動(天候等の状況をみながら体育館および屋外での体育種目を実施。)	西館
9	運動(天候等の状況をみながら体育館および屋外での体育種目を実施。)	西館
10	運動(天候等の状況をみながら体育館および屋外での体育種目を実施。)	西館
11	宿泊研修(集団行動)	西館
12	宿泊研修(集団行動)	西館
13	宿泊研修(集団行動)	西館
14	宿泊研修(集団行動)	西館
15	宿泊研修(集団行動)	西館

コマ	履修内容	教員
16	運動(天候等の状況をみながら体育館および屋外での体育種目を実施. )	西館
17	運動(天候等の状況をみながら体育館および屋外での体育種目を実施. )	西館
18	運動(天候等の状況をみながら体育館および屋外での体育種目を実施. )	西館
19	運動(天候等の状況をみながら体育館および屋外での体育種目を実施. )	西館
20	運動(天候等の状況をみながら体育館および屋外での体育種目を実施. )	西館
21	運動(天候等の状況をみながら体育館および屋外での体育種目を実施. )	西館
22	運動(天候等の状況をみながら体育館および屋外での体育種目を実施. )	西館
23	体力測定(シャトルランなど)	西館
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

コマ	履修内容	教員
31		
32		
33		
34		
35		
36		
37		
38		
39		
40		
41		
42		
43		
44		
45		

科目名	運動学実習		
担当教員	西口 嘉和 石井 綾子 川上 和敏 鈴木 渉 三浦 太一 西舘 潤		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
2	前	1	15
履修目的・授業概要 各実習をとおして運動のしくみ，運動学の臨床応用について学ぶ。			
到達目標 実習結果を運動学的に分析し，身体運動・動作の特徴や仕組みを理解する。 分析結果をまとめ，発表することができる。			
授業の形式・方法 講義・演習			
成績評価の方法・基準 実習態度，レポート評価			
学生へのメッセージ 6人の教員それぞれに担当がある科目です。教員それぞれの個性ある授業展開も楽しみに。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格

コマ	履修内容	教員
1	ファンクショナルリーチテスト	三浦
2	ファンクショナルリーチテスト	三浦
3	歩行の動作分析	石井
4	歩行の動作分析	石井
5	歩行の動作分析	石井
6	運動負荷試験 最大酸素摂取量と運動	西舘
7	運動負荷試験 最大酸素摂取量と運動	西舘
8	バイタルチェック	鈴木
9	バイタルチェック	鈴木
10	バイタルチェック	鈴木
11	手指機能の動作分析	川上
12	手指機能の動作分析	川上
13	肩外転の特徴	西口
14	肩甲上腕リズム①	西口
15	前腕の肢位と肘関節屈曲	西口

科目名	生化学		
担当教員	矢澤 隆志		
	実務経験		無
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
2	前	1	8
履修目的・授業概要			
生体と生命活動について学習する。病態の発症や治療、予防について必要な基礎知識と基本的な考え方を学ぶ。			
到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生体構成物質の分子レベルから理解できる。</li> <li>・代謝について、その機能について理解できる。</li> <li>・糖質、脂質、タンパク質等の構造と機能について理解できる。</li> </ul>			
授業の形式・方法			
講義			
成績評価の方法・基準			
出席、取り組み態度、試験成績を総合して判定する。			
学生へのメッセージ			
授業は教科書中心に進め、適宜、スライドや動画などを用いて理解と興味を高めます。教科書は、きわめて分かりやすく書かれていますので、しっかり勉強してください。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
よくわかる専門基礎講座 生化学 第2版	津田 道雄	金原出版	2310

コマ	履修内容	教員
1	生命の保持と生化学の基本：細胞の構造、および細胞内小器官の機能と役割を学ぶ。	矢澤
2	酵素：酵素とは何か、その役割や性質について、基本を学ぶ。	矢澤
3	糖質代謝：生きるためのエネルギーを糖質からどのように得るか、糖質の消化・吸収・代謝について学ぶ。	矢澤
4	脂質代謝：脂質の構造、消化、吸収、体内輸送、役割、代謝について学ぶ。	矢澤
5	アミノ酸・タンパク質代謝：アミノ酸・タンパク質の構造、性質、役割、代謝について学ぶ。	矢澤
6	ホルモン：ホルモンとは何か、その種類、分泌、フィードバック制御について学ぶ。	矢澤
7	病態の発症や治療、予防について、生化学との関連から。	矢澤
8	筆記試験	矢澤
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

科目名	病理学		
担当教員	後藤 正憲 藤井 裕美子		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
2	前	1	8
履修目的・授業概要 病理学的思考を学び、病気の成り立ちを理解する。			
到達目標 ・身体を構成している各器官・臓器・組織が、病的状態において、その形態、昨日などがどのように変化していくかを理解する。			
授業の形式・方法 講義			
成績評価の方法・基準 筆記試験（100％）			
学生へのメッセージ 解剖学・生理学の基礎知識を十分に理解した上で臨んでください。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
標準理学・作業療法学 病理学第5版	梶原博毅	医学書院	5060

コマ	履修内容	教員
1	序論・細胞傷害	後藤
2	組織修復・再生	後藤
3	免疫とその異常	後藤
4	循環障害	後藤
5	腫瘍	後藤
6	感染症	藤井
7	遺伝性疾患、先天性疾患	藤井
8	筆記試験	後藤 藤井
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

科目名	内科学Ⅰ		
担当教員	(予定) 別所瞭一 坂上英充 竹田安孝 岡本健作 藤代大介 江口耕平 藤野貴行 山本泰司		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
2	通	2	21
履修目的・授業概要			
内科系疾患（呼吸器疾患・循環器疾患・代謝疾患）の概要とその診断・治療上の要点を学習する。			
到達目標			
リハビリテーション現場に頻回に遭遇する疾患について理解できる。また、医療従事者として必要とされる一般的な医学的知識の習得する。			
授業の形式・方法			
オムニバス形式の講義で行う。			
成績評価の方法・基準			
筆記試験（100％）			
学生へのメッセージ			
これまでに履修した解剖学，生理学，病理学の知識をもとに様々な疾患について病態，治療法，予後などを学んでください。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
成人看護学3 循環器 第15版	吉田 俊子	医学書院	2640

コマ	履修内容	教員
1	代謝・栄養学	別所
2	糖尿病総論	坂上
3	糖尿病各論	坂上
4	内分泌疾患総論	竹田
5	内分泌疾患各論	竹田
6	リウマチ	岡本
7	リウマチ様疾患	岡本
8	リウマチ以外の膠原病	藤代
9	アレルギー性疾患	江口
10	循環器の構造と機能	藤野
11	循環器の症状と病態生理	藤野
12	疾患の理解	藤野
13	各種疾患1（虚血性心疾患、心筋疾患、心不全、血圧異常）	藤野
14	各種疾患2（弁膜症、心膜炎、先天性心疾患、動静脈系疾患）	藤野
15	呼吸器系の構造と機能	山本



科目名	内科学II		
担当教員	(予定) 林明宏, 佐々木貴弘 林秀美, 高橋慶太郎, 沖潤一		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
2	後	2	16
履修目的・授業概要 点を学習する。小児疾患に関して、知識を深める。			
到達目標 ・小児疾患について理解し、病態、症状、予後、一般的治療について説明できる。 ・内科系疾患について理解し、病態、症状、予後、一般的治療について説明できる。			
授業の形式・方法 オムニバス形式の講義で行う。			
成績評価の方法・基準 筆記試験(100%)			
学生へのメッセージ 臨床現場で働いている医師の先生方の話を聞くことができる貴重な機会です。医師の先生方の疾患に対するとらえ方や考え方を学んでください。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
なし			

コマ	履修内容	教員
1	小児科総論1	沖
2	小児科総論2	沖
3	各論・神経筋疾患	沖
4	各論・脳の器質的疾患	沖
5	各論・てんかん	沖
6	各論・発達障害	沖
7	各論・重症心身障害児	沖
8	胆嚢・膵臓疾患	林
9	肝臓疾患1	林
10	肝臓疾患2	林
11	上部消化管疾患1	佐々木
12	上部消化管疾患2	佐々木
13	下部消化管疾患1	高橋
14	下部消化管疾患2	高橋
15	筆記試験(内科系疾患)	各担当



科目名	整形外科学		
担当教員	松野 丈夫		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
2	前	2	15
履修目的・授業概要			
骨、関節、筋、靭帯、脊椎・脊髄、末梢神経系などの整形外科各疾患について学習する。			
到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・整形外科に特有の検査法、診断法、治療法やリハビリテーションに関する知識を身につける。</li> <li>・外傷学（創傷、打撲、脱臼、骨折、捻挫等の分類、症状、合併症、治癒機転等）の基礎知識を身につける</li> </ul>			
授業の形式・方法			
講義			
成績評価の方法・基準			
筆記試験（100％）			
学生へのメッセージ			
予習復習に心がけること			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
病気がみえるVol.11 運動器・整形外科学		MEDIC MEDIA	3,800

コマ	履修内容	教員
1	整形外科総論（定義・歴史・診察・検査法）	松野
2	小児整形外科疾患	松野
3	骨折・脱臼（1）	松野
4	骨折・脱臼（2）	松野
5	関節損傷	松野
6	脊髄損傷	松野
7	末梢神経損傷	松野
8	関節リウマチと近縁疾患（含：骨・軟部腫瘍）	松野
9	骨・関節の炎症疾患，代謝性疾患	松野
10	脊椎疾患	松野
11	上肢の疾患	松野
12	下肢の疾患	松野
13	スポーツ障害・損傷，障がい者スポーツ	松野
14	整形外科とリハビリテーション	松野
15	試験	松野

科目名	中枢神経疾患		
担当教員	澤田潤 安藤 玲 広島 覚 三井宣幸 齊藤仁十 佐藤広崇		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
2	前	2	23
履修目的・授業概要			
神経変性疾患についての診断・治療上の注意を学ぶ。 脳神経外科領域の代表的疾患について病態生理と症状、疾患の特徴、画像診断や治療について学ぶ。			
到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中枢性神経損傷によって生じる症状を説明できる。</li> <li>・各神経疾患の病態を理解する。</li> </ul>			
授業の形式・方法			
講義			
成績評価の方法・基準			
筆記試験（100％）			
学生へのメッセージ			
神経の構造、神経の特性に基づいて理解することを意識して学ぶようにしてください。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
脳・神経疾患 スーパービジュアル	服部 光男	成美堂出版	3080

コマ	履修内容	教員
1	病歴の取り方，診察の順序・記録の仕方	澤田
2	運動機能の診かた，反射の診かた，運動麻痺の診かた	澤田
3	感覚の診かた，感覚障害の診かた	澤田
4	脳神経の診かた，脳神経障害の診かた	澤田
5	小脳機能の診かた，小脳障害の診かた	澤田
6	精神症状、意識障害の診かた	澤田
7	高次脳機能，失語・失行・失認の診かた	澤田
8	脳血管障害 1	安藤
9	脳血管障害 2	安藤
10	錐体外路疾患	安藤
11	小脳疾患、運動ニューロン病	安藤
12	脱髄疾患、炎症疾患	安藤
13	末梢神経疾患、筋疾患	安藤
14	頭痛，てんかん，内科疾患	安藤
15	脳神経外科総論 1	広島

コマ	履修内容	教員
16	脳神経外科総論 2	広島
17	外傷	三井
18	脳血管障害	三井
19	腫瘍	齊藤
20	脳神経外科領域における画像診断 (1)	佐藤
21	脳神経外科領域における画像診断 (2)	佐藤
22	筆記試験 1	澤田 植村
23	筆記試験 2	齊藤
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

コマ	履修内容
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	

科目名	精神医学		
担当教員	稲葉 央子 三浦 太一 西館 潤		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
2	通	2	15
履修目的・授業概要 精神疾患の症状・治療についての概要を学ぶ。			
到達目標 代表的な精神障害に関する専門的知識を取得する。			
授業の形式・方法 講義			
成績評価の方法・基準 筆記試験（100％）			
学生へのメッセージ 分からないことは、遠慮なく、何でも質問をするようにして下さい。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
標準精神医学 第4版	上野武治	医学書院	4,400

コマ	履修内容	教員
1	精神医学とは	稲葉
2	精神障害の成因と分類	稲葉
3	精神機能の障害と精神症状	稲葉
4	精神障害の診断と評価	稲葉
5	脳器質性精神障害・症状性精神障害	稲葉
6	精神作用物質による精神および行動の障害	稲葉
7	てんかん	稲葉
8	統合性失調症	稲葉
9	感情障害	稲葉
10	神経症性障害	稲葉
11	生理的障害・人格障害	稲葉
12	知的障害・発達障害	稲葉
13	認知症”ボケますので宜しくお願いします”視聴	三浦
14	リハビリテーション	西館
15	試験	稲葉

科目名	一般臨床医学		
担当教員	遠山裕樹, 佐古澄子 原淵翔平, 大谷将秀, 谷誓良 萩原正弘, 高橋裕之, 舘宏 宮本正之, 堀淳一, 斉藤剛史		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
2	後	2	16
履修目的・授業概要 医学的知識を高め、これからの専門領域に役立てる。			
到達目標 この講義で扱う疾患の主な病態や治療について説明することができる。			
授業の形式・方法 オムニバス形式の講義で行う。			
成績評価の方法・基準 筆記試験 (100%)			
学生へのメッセージ 配付資料の復習を怠らないようにしてください。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
なし			

コマ	履修内容	教員
1	全身麻酔とその影響	遠山
2	局所麻酔とその影響	佐古
3	摂食嚥下のメカニズムとその障害	舘
4	摂食嚥下障害に対するリハビリテーション	舘
5	代表的な皮膚疾患	菅原
6	熱傷リハビリテーション	菅原
7	疾患分類の原則と代表的な疾患の例示	河野
8	代表的な疾患の例示と特徴の説明	河野
9	上部消化管疾患の手術療法、低侵襲治療	大谷
10	下部消化管疾患の手術療法、創傷管理	庄中
11	肝胆膵疾患の手術療法、臓器移植	萩原
12	手術侵襲と生体反応、体液・栄養管理	今井
13	滅菌と感染	高橋
14	泌尿器の構造と生理	堀
15	泌尿器疾患と治療	堀



科目名	保健医療福祉制度論		
担当教員	西館 潤		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
2	前	1	15
履修目的・授業概要 作業療法士として働く上で必要な診療報酬，介護保険，福祉制度などについて学ぶ。			
到達目標 診療報酬，介護保険，福祉制度などについて説明できる。			
授業の形式・方法 講義			
成績評価の方法・基準 グループワーク形式での小テスト 筆記試験，レポート評価			
学生へのメッセージ 医療は医療分野にとどまらず、福祉・介護、保健、生活衛生分野等と密接に関わっています。これらの法制度と関連施策を理解することで、皆さんが将来活躍する場、仕事を社会的な観点から理解して下さい。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格

コマ	履修内容	教員
1	死因統計	西館
2	健康	西館
3	社会保険の仕組み、医療費の支払い	西館
4	感染症、インフルエンザ、結核	西館
5	医療事故、チーム医療	西館
6	診療情報、診療報酬	西館
7	食中毒	西館
8	栄養、健康食品	西館
9	アルコール依存症、精神保健福祉	西館
10	PT・OT法	西館
11	障害福祉	西館
12	身体障害手帳の判定、心疾患	西館
13	身体障害手帳の判定、肢体不自由①	西館
14	身体障害手帳の判定、肢体不自由②	西館
15	試験	西館

科目名	基礎作業学		
担当教員	鈴木 渉		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
2	前	1	15
履修目的・授業概要			
本講義では、作業を治療的手段として、あるいは生活を構成するという意味で使用することを学ぶ。			
到達目標			
1. 作業の概念を理解する			
2. 作業療法の歴史を理解する			
3. 作業の理論を知るである			
授業の形式・方法			
講義と演習			
成績評価の方法・基準			
筆記試験100%から遅刻・欠席回数を減じるものとする。			
学生へのメッセージ			
講義で分からないことがあれば必ず確認してください。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
基礎作業学	小林夏子編集	医学書院	¥3,990
国際生活機能分類	世界保健機構	中央法規	¥3,500
生活機能分類の活用に向けて		厚生統計協会	¥800
作業で語る事例報告	齋藤佑樹	医学書院	¥3,500

コマ	履修内容	教員
1	作業療法の歴史	鈴木
2	作業の主観的意味	鈴木
3	作業の文脈	鈴木
4	作業機能障害	鈴木
5	医療のなかの作業療法	鈴木
6	トップダウン、ボトムアップ	鈴木
7	人間作業モデル	鈴木
8	作業遂行との結び付きカナダモデル	鈴木
9	国際生活機能分類	鈴木
10	国際生活機能分類	鈴木
11	感覚統合理論	鈴木
12	生活行為向上マネジメント	鈴木
13	多職種連携のマネジメント	鈴木
14	多職種連携における作業療法	鈴木
15	試験	鈴木

科目名	基礎作業学実習Ⅲ		
担当教員	滝本 宣博(実務無) 西口 嘉和 石井 綾子 川上 和敏 鈴木 渉 三浦 太一 西館 潤		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
2	通	1	24
履修目的・授業概要 本講義では、作業活動の実践を通して臨床応用に必要な知識・技術を学ぶ。			
到達目標 作業活動の実践を通して臨床応用に必要な知識・技術について説明できる。			
授業の形式・方法 演習			
成績評価の方法・基準 参加状況, レポート評価			
学生へのメッセージ 楽しみながら参加してください。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
なし			

コマ	履修内容	教員
1	学生間交流を通じたコミュニケーション課題	各教員
2	学生間交流を通じたコミュニケーション課題	各教員
3	学生間交流を通じたコミュニケーション課題	各教員
4	学生間交流を通じたコミュニケーション課題	各教員
5	学生間交流を通じたコミュニケーション課題	各教員
6	学生間交流を通じたコミュニケーション課題	各教員
7	学生間交流を通じたコミュニケーション課題	各教員
8	学生間交流を通じたコミュニケーション課題	各教員
9	学生間交流を通じたコミュニケーション課題	各教員
10	学生間交流を通じたコミュニケーション課題	各教員
11	陶芸の道具, 使用法, 一連の工程を学ぶ	滝本
12	陶芸の道具, 使用法, 一連の工程を学ぶ	滝本
13	陶芸の道具, 使用法, 一連の工程を学ぶ	滝本
14	陶芸の道具, 使用法, 一連の工程を学ぶ	滝本
15	陶芸の道具, 使用法, 一連の工程を学ぶ	滝本

コマ	履修内容	教員
16	陶芸の道具, 使用法, 一連の工程を学ぶ	滝本
17	レクリエーション企画・実施	三浦
18	レクリエーション企画・実施	三浦
19	レクリエーション企画・実施	三浦
20	レクリエーション企画・実施	三浦
21	レクリエーション企画・実施	三浦
22	レクリエーション企画・実施	三浦
23	レクリエーション企画・実施	三浦
24	レクリエーション企画・実施	三浦
25		
26		
27		
28		
29		
30		

コマ	履修内容
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	

科目名	評価実習 II		
担当教員	三浦 太一		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
2	前	1	23
履修目的・授業概要 徒手筋力検査(以下MMT)の方法と手技について理解する。骨格筋の機能を理解する。			
到達目標 MMTの方法と手技を理解する。 対象へのオリエンテーションや各種配慮を含め実施できるようにする			
授業の形式・方法 実習形式 動きやすい恰好(ジャージ等)で臨んで下さい。			
成績評価の方法・基準 中間・最終試験実施 筆記50%・実技50%			
学生へのメッセージ MMTについては今後実習にて必要になる基本的な手技です。 また、実施にあたり基本的な解剖学的知識は必須となります。十分な準備をして臨んでください。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
新・徒手筋力検査法 第10版	Helen J.Hislop	協同医書出版	

コマ	履修内容	教員
1	<b>オリエンテーション・講義①</b> MMTの概要について理解する	三浦
2	<b>オリエンテーション・講義②</b> MMTの概要について理解する	三浦
3	<b>頸筋の検査①</b>	三浦
4	<b>頸筋の検査②</b>	三浦
5	<b>頸筋の検査③</b>	三浦
6	<b>体幹の検査①</b>	三浦
7	<b>体幹の検査②</b>	三浦
8	<b>体幹の検査③</b>	三浦
9	<b>肩甲帯の検査①</b>	三浦
10	<b>肩甲帯の検査②</b>	三浦
11	<b>肩甲帯の検査③</b>	三浦
12	<b>中間試験</b> 筆記試験・実技試験(1~11の内容)	三浦
13	<b>上肢の検査①</b>	三浦
14	<b>上肢の検査②</b>	三浦
15	<b>上肢の検査③</b>	三浦

コマ	履修内容	教員
16	上肢の検査④	三浦
17	上肢の検査⑤	三浦
18	下肢の検査①	三浦
19	下肢の検査②	三浦
20	下肢の検査③	三浦
21	下肢の検査④	三浦
22	下肢の検査⑤	三浦
23	試験 筆記試験・実技試験(全範囲)	三浦
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

コマ	履修内容
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	

科目名	評価実習Ⅲ		
担当教員	川上 和敏		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
2	後	1	23
履修目的・授業概要			
神経学的検査の意義、目的、方法を理解し、実技を通して臨床に繋がる知識・技術・態度を習得する。神経系に異常があるかないかの判断やどこにどのような異常があるのかを推定する。			
到達目標			
各種神経学的検査（ROM、MMTは除く）におけるスタンダードな検査を、適切な目的や手順、方法で実施できる。検査結果について評価基準に沿って判断・説明できる。			
授業の形式・方法			
講義、実技			
成績評価の方法・基準			
筆記試験50%、実技試験50%			
学生へのメッセージ			
実技では、検者、被検者双方を体験し、患者の立場や視点を理解するように努めること。実際の臨床では、病的症状や活動制限が存在していることを意識して取り組むこと。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
標準OT学作業療法評価学第3版		医学書院	
ベッドサイドの神経の診方		南山堂	
リハビリテーション基礎評価学		羊土社	

コマ	履修内容	教員
1	<b>神経学的検査の意義</b> ・講義オリエンテーション ・神経学的検査の目的、意義	川上
2	<b>神経学的検査の内容</b> ・問診、視診、触診、運動診 ・検査チャートの活用法	川上
3	<b>精神機能評価（意識・注意）</b> ・JCSとGCSの理解 ・注意機能障害の理解と診方	川上
4	<b>深部腱反射・表在反射</b> ・目的、意義、記録法、注意点 ・実技練習	川上
5	<b>病的反射</b> ・目的、意義、記録法、注意点 ・実技練習	川上
6	<b>反射検査実技</b> ・一連の流れ、疾患別対応	川上
7	<b>感覚検査</b> ・感覚・知覚・認知の定義 ・目的、意義、分類、受容器、伝導路	川上
8	<b>感覚検査の実技</b> ・防御知覚（触圧覚）	川上
9	<b>感覚検査の実技</b> ・防御知覚（SW知覚テスター）	川上
10	<b>感覚検査の実技</b> ・防御知覚（痛覚、温度覚）	川上
11	<b>感覚検査の実技</b> ・深部知覚（運動覚、位置覚）	川上
12	<b>感覚検査の実技</b> ・深部知覚（母指探しテスト、振動覚）	川上
13	<b>感覚検査の実技</b> ・識別知覚（動的・静的二点識別覚）	川上
14	<b>感覚検査の実技</b> ・識別知覚（立体覚、moberg picking up test）	川上
15	<b>筋緊張評価</b> ・異常筋緊張の分類 ・実技	川上

コマ	履修内容	教員
16	<b>片麻痺機能検査</b> ・目的, 意義, 記録法 ・BRSとGrade法の互換性	川上
17	<b>片麻痺機能検査の実技</b> ・BRS	川上
18	<b>片麻痺機能検査の実技</b> ・Grade法 (上肢・下肢・手指)	川上
19	<b>失調症検査</b> ・目的, 意義, 分類, 臨床症状	川上
20	<b>失調症検査の実技</b> ・上肢・下肢の検査	川上
21	<b>失調症検査の実技</b> ・ロンベルグ試験, その他の試験	川上
22	<b>脳神経検査の実技</b> ・第1~12脳神経の機能と検査法 ・実技: 対座法, 眼球運動	川上
23	試験 (筆記, 実技)	川上
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

コマ	履修内容
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	

科目名	作業療法評価法Ⅰ		
担当教員	川上 和敏		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
2	前	1	15
履修目的・授業概要			
作業療法評価の意義を学び、さらに事例検討を通して、ICFの考え方を踏まえた作業療法評価のプロセス・方法について学ぶ。その他、領域共通としてバイタルサイン、臨床検査データ等について学ぶ。主要疾患に関連する検査データの診方を学ぶ。			
到達目標			
作業療法評価の意義や一連のプロセスを理解する。さらに、臨床場面における最低限の危機管理の意味や方法を理解し安全面に配慮した評価を実施できるよう知識・技術・態度を習得する。			
授業の形式・方法			
講義、一部演習形式			
成績評価の方法・基準			
筆記試験（100％）			
学生へのメッセージ			
作業療法士が行う評価は、だれのためのものか。臨床の現場では常に目的と手段を明確にすることが重要となります。そのために正しい知識と状況判断力を身に付ける必要があります。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
標準OT学作業療法評価学第3版		医学書院	
作業療法評価エッセンス		医歯薬出版	

コマ	履修内容	教員
1	<b>作業療法評価の意義</b> ・作業療法の過程と評価の役割 ・診断的評価と形的评价	川上
2	<b>評価の性質</b> ・信頼性と妥当性 ・感度と特異性	川上
3	<b>ICFモデルとICIDHモデルについて</b> ・構造上の特徴と相違点 ・【演習】プラスとマイナス因子の見方	川上
4	<b>OT評価について</b> ・QOLとは ・患者心理、障害受容について	川上
5	<b>OT評価の流れ</b> ・クリニカルリーズニング ・領域別の理解	川上
6	<b>情報収集</b> ・一般情報と医学的情報 ・検査データの診方	川上
7	<b>面接法</b> ・目的と種類 ・面接技能について	川上
8	<b>観察法</b> ・目的と種類 ・バイアスについて	川上
9	<b>リスク管理</b> ・ハインリッヒの法則 ・ヒヤリハットとインシデントの違い	川上
10	<b>バイタルサインの診方</b> ・意識レベル ・脈拍、呼吸、血圧、体温	川上
11	<b>痛みの評価</b> ・痛みの種類 ・炎症所見	川上
12	<b>脳血管疾患の評価</b> ・脳画像の診方 ・臨床症状と評価法	川上
13	<b>心疾患の評価</b> ・心電図の診方 ・臨床症状と評価法	川上
14	<b>呼吸器疾患の評価</b> ・呼吸器データの診方 ・臨床症状と評価法	川上
15	筆記試験	川上

科目名	作業療法評価法Ⅱ		
担当教員	鈴木 渉		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
2	後	1	15
履修目的・授業概要			
<p>人は、瞬時に身体反応・感情・思考の変化が起きる複雑な存在である。よって、人の特徴は、数値や平易な単語で表現することのできない場合が多い。OT評価法Ⅱでは主に数値で表現することのできない評価法について学ぶ。</p>			
到達目標			
作業療法独自の理論に基づく評価法を理解する。			
授業の形式・方法			
講義と演習			
成績評価の方法・基準			
筆記試験100%から欠席・遅刻回数を減じるものとする。			
学生へのメッセージ			
各評価表の違いについて明確に理解すること。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
作業で語る事例報告	齋藤佑樹	医学書院	¥3,500
非構成的評価トレーニングブック	京極真	誠真書房	¥2,700

コマ	履修内容	教員
1	トップダウンとボトムアップ	鈴木
2	作業療法の質を観察する	鈴木
3	興味チェックリスト	鈴木
4	役割チェックリスト	鈴木
5	カナダ作業遂行測定	鈴木
6	作業に関する自己評価・改訂版	鈴木
7	人間作業モデルスクリーニングツール	鈴木
8	認知症高齢者の絵カード評価法	鈴木
9	MMSE,長谷川式簡易知能スケール	鈴木
10	非構成的面接	鈴木
11	非構成的面接	鈴木
12	非構成的面接	鈴木
13	事例検討	鈴木
14	事例検討	鈴木
15	筆記試験	鈴木

科目名	義肢装具学		
担当教員	西館 潤 海老原 裕幸		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
2	後	1	15
履修目的・授業概要			
義肢装具および福祉用具に関する基本的な留意事項と機能及び適合について学ぶ。			
到達目標			
上下肢の義手義足から各種福祉用具についての理解を深める。			
授業の形式・方法			
講義および各種実習形式			
成績評価の方法・基準			
試験90%・TBL10%・授業参加状況による判定			
学生へのメッセージ			
触れることも接することも少ない領域ではありますが、貴重な機会に積極的に質問して下さい。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格

コマ	履修内容	教員
1	<b>切断の原因となる疾患</b> DM等切断に関連する疾患について	西館
2	<b>下肢装具</b> 装具概論から下肢の装具について	西館
3	<b>体幹・骨盤帯装具</b> 体幹装具概論から体感・骨盤帯装具について	西館
4	下肢義足 下肢義足概論から下肢義足について	西館
5	<b>コミュニケーションエイド</b> ハーティージャー等のツールについて	西館
6	<b>TBL</b> 前半分の小テスト	西館
7	<b>上肢装具・義手①</b> 義手の構成要素	海老原
8	<b>上肢装具・義手②</b> 評価をチェックアウト	海老原
9	<b>上肢装具・義手③</b> 仮義手の評価と訓練	海老原
10	<b>上肢装具・義手①</b> 筋電義手の評価と訓練	海老原
11	<b>環境制御装置各種</b> 電子機器，スイッチの臨床活用	西館
12	<b>環境制御装置各種</b> 電子機器，スイッチの臨床活用	西館
13	<b>環境制御装置各種</b> 電子機器，スイッチの臨床活用	西館
14	<b>環境制御装置各種</b> 電子機器，スイッチの臨床活用	西館
15	<b>試験</b>	西館

科目名	義肢・装具学実習		
担当教員	西口 嘉和		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
2	後	1	23
履修目的・授業概要			
手の外科= Hand Therapyの治療原則の理解と作業療法 の役割、および手の基本的機能と障害について学 ぶ。スプリントの基礎知識を講義後、実際に作製す る。			
到達目標			
1：手の外科の治療原則を理解する			
2：「手」（手関節以遠）の機能解剖について 理解する			
3：スプリントの概要について理解する			
4：代表的なスプリントの製作方法を取得する			
授業の形式・方法			
前半：担当教員作成のプリントを用いながらの講義。 後半：スプリント作製。章ごとにレポート課題。			
成績評価の方法・基準			
小テスト20%、本試80%。出席状況と課題で増減。			
学生へのメッセージ			
一年次に履修した解剖学および運動学を十分復習して おくこと。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
基本スプリントの作りかた	山口淳（監）	医歯薬出版	2200

コマ	履修内容	教員
1	オリエンテーション：スライドによる症例紹介	西口
2	手の外科の治療原則①：手の外科の歴史とリハ チームの役割	西口
3	手の外科の治療原則②：手の外科に必要な設備	西口
4	手の外科の治療原則③：治療を阻害する原因	西口
5	手関節の機能解剖①：手関節を構成する関節	西口
6	手関節の機能解剖②：手関節の運動と筋活動	西口
7	手関節の機能解剖③：手関節の解剖学的特質	西口
8	手指の機能解剖①：手指の構成	西口
9	手指の機能解剖②：手指の関節と筋	西口
10	手指の機能解剖③：手指の機能	西口
11	スプリントの概要①：スプリントの定義と種類	西口
12	スプリントの概要②：スプリントの適応と目的	西口
13	スプリントの概要③：作製時の留意点	西口
14	スプリント作製①：対立スプリント	西口
15	スプリント作製②：対立スプリント	西口

コマ	履修内容	教員
16	スプリント作製③：対立スプリント	西口
17	スプリント作製④：カックアップスプリント	西口
18	スプリント作製⑤：カックアップスプリント	西口
19	スプリント作製⑥：カックアップスプリント	西口
20	スプリント作製⑦：リングスプリント	西口
21	スプリント作製⑧：アウトリガースプリント	西口
22	スプリント作製⑨：アウトリガースプリント	西口
23	本試験	西口
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

コマ	履修内容
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	

科目名	日常生活活動Ⅰ		
担当教員	石井綾子		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
2	前	1	15
履修目的・授業概要			
<p>作業療法士は対象者のADLを改善する専門家である。ゆえに作業療法士は対象者のADL能力を評価しADLを高めるプログラムを立案できなければならない。講義を通し、疾患に対する理解と何気ない自分の日常生活について考えることを目的とする</p>			
到達目標			
<p>自分の日常生活活動についての作業分析やADLの評価を行う上での基本を学び、深める。また、各疾患の基礎知識とADLを関連して考えることができる。</p>			
授業の形式・方法			
講義，グループワーク，発表形式			
成績評価の方法・基準			
筆記試験（9割）発表（1割）とし，更に出席状況にて増減			
学生へのメッセージ			
自分たちの生活，活動を見直すきっかけとなり，各自のADLを高めましょう。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
作業療法学全書 日常生活活動	酒井ひとみ（編）	協同医書	3,600
I・ADL	生田宗博	三輪書店	
標準作業療法学 会生活行為学	田川義勝，他（編）	医学書院	

コマ	履修内容	教員
1	ADLの概要①	石井
2	ADLの概要②	石井
3	摂食・嚥下①	石井
4	摂食・嚥下②	石井
5	排泄①	石井
6	排泄②	石井
7	入浴①	石井
8	入浴②	石井
9	更衣①	石井
10	更衣②	石井
11	整容①	石井
12	整容②	石井
13	疾患ごとのADL 発表①	石井
14	疾患ごとのADL 発表②	石井
15	筆記試験	石井

科目名	日常生活活動実習Ⅰ		
担当教員	石井綾子		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
2	後	1	23
履修目的・授業概要			
人が生活するとはどういうことか？人の動作に係関するとはどういうことか？基本動作を中心に他者の動作能力を如何にして引き出すことができるのか、その介入の実際について学ぶ			
到達目標			
安全性に配慮しながら、相手の体格や能力や状況に応じた介助や関わりが出来るようになる。また、それに応じた誘導技術について理解を深める。			
授業の形式・方法			
実技とレポート形式			
成績評価の方法・基準			
実技試験（6割）筆記試験（4割）とし、出席状況にて増減			
学生へのメッセージ			
基本的な動作や診る視点を学ぶ中で、想像力を豊かにしましょう！実技が基本なので、動ける服装で出席してください。また、動画を撮ることや画像をみてもらうことがあるので携帯を持参してください。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
ADLとその周辺	伊藤利之・鎌倉短子	医学書院	6,000
片麻痺能力回復と自立達成の技術	生田宗博	三輪書店	5,460
脳卒中リハビリガイド 第2版	田口芳雄	学研	3,400

コマ	履修内容	教員
1	ADLには何がある？細項目化	石井
2	相手の姿勢の特徴を知ろう 背臥位・座位・立位	石井
3	相手の姿勢の特徴を知ろう 寝返り・起き上がり	石井
4	片麻痺患者のへの介入の仕方 寝返り・起き上がり	石井
5	片麻痺患者のへの介入の仕方 ベッド⇄車いす	石井
6	片麻痺患者のへの介入の仕方 食事①	石井
7	片麻痺患者のへの介入の仕方 食事②	石井
8	片麻痺患者のへの介入の仕方 更衣①（上衣）	石井
9	片麻痺患者のへの介入の仕方 更衣②（下衣）	石井
10	片麻痺患者のへの介入の仕方 更衣③（靴下・靴）	石井
11	片麻痺患者のへの介入の仕方 トイレ	石井
12	片麻痺患者のへの介入の仕方 入浴	石井
13	片麻痺患者のへの介入の仕方 清拭・整容（手洗い）	石井
14	片麻痺患者のへの介入の仕方 ベッド⇄トイレ・入浴	石井
15	片麻痺患者のへの介入の仕方 ベッド⇄トイレ・入浴	石井

コマ	履修内容	教員
16	<b>脊髄損傷患者のへの介入の仕方</b> 寝返り・起き上がり	石井
17	<b>脊髄損傷患者のへの介入の仕方</b> ベッド⇄車いす	石井
18	<b>脊髄損傷患者のへの介入の仕方</b> 更衣①（上衣）	石井
19	<b>脊髄損傷患者のへの介入の仕方</b> 更衣②（下衣）	石井
20	<b>下方ヘリーチ不可の患者のへの介入の仕方</b> 更衣①（下衣・靴下・靴）	石井
21	<b>その他</b> 三角巾の着脱の仕方 点滴などリスク管理が伴う移乗 （ベッド⇄車いす）	石井
22	<b>歩行補助具を使用しての歩行・階段昇降</b>	石井
23	<b>実技試験・筆記試験</b>	石井
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

コマ	履修内容
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	

科目名	身体障害Ⅰ		
担当教員	西口 嘉和		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
2	前	1	15
履修目的・授業概要			
「作業療法概論Ⅱ」で学んだ身体領域分野作業療法の知識・技術をさらに深める。臨床で遭遇する機会が多い脳血管障害（CVA）およびパーキンソン病（PD）の特徴と基本的な作業療法アプローチについて学ぶ。			
到達目標			
1：身体領域作業療法の目的と過程を理解する			
2：作業療法の対象となる機能障害を理解する			
3：CVAおよびPDに対する作業療法の基本を理解する			
授業の形式・方法			
教科書および担当教員作成のプリントを用いながら、主として講義形式で行う。			
成績評価の方法・基準			
小テスト20%，本試80%。出席状況と課題で増減。			
学生へのメッセージ			
講義内容を記憶するだけでなく、理解することが重要。そのための積極的な学習態度を求む。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
身体領域の作業療法第2版	大嶋伸雄（編）	中央法規	5000

コマ	履修内容	教員
1	<b>オリエンテーション、身体領域作業療法の目的と過程①</b> ：作業療法とリハビリテーションの関連性	西口
2	<b>身体領域作業療法の目的と過程②</b> ：作業療法の評価対象	西口
3	<b>身体領域作業療法の目的と過程③</b> ：作業療法士が用いる活動の効果と目的	西口
4	<b>作業療法の対象となる機能障害①</b> ：身体機能面	西口
5	<b>作業療法の対象となる機能障害②</b> ：身体機能面	西口
6	<b>作業療法の対象となる機能障害③</b> ：認知機能面	西口
7	<b>作業療法の対象となる機能障害④</b> ：認知機能面	西口
8	<b>CVAの作業療法①</b> ：CVAの概要	西口
9	<b>CVAの作業療法②</b> ：CVAの障害像	西口
10	<b>CVAの作業療法③</b> ：CVAの作業療法評価	西口
11	<b>CVAの作業療法④</b> ：CVAへの作業療法介入	西口
12	<b>PDの作業療法①</b> ：PDの概要と障害像	西口
13	<b>PDの作業療法②</b> ：PDの作業療法評価	西口
14	<b>PDの作業療法③</b> ：PDへの作業療法介入	西口
15	<b>本試験</b>	西口

科目名	身体障害 II		
担当教員	西口 嘉和		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
2	後	1	15
履修目的・授業概要			
以下の身体機能疾患により、作業遂行障害をきたした症例への評価・治療・指導・援助方法を修得する。神経・筋疾患（ギランバレー症候群、多発性硬化症、重症筋無力症）、神経変性疾患（脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症）、関節リウマチ、骨折			
到達目標			
疾患・障害による問題を解決する具体的な知識・技術を学ぶとともに、生活における健康維持・予防にも焦点を当てる作業療法を提供できるようにする。			
授業の形式・方法			
教科書および担当教員作成のプリントを用いながら、主として講義形式で行う。			
成績評価の方法・基準			
小テスト20%，本試80%。出席状況と課題で増減。			
学生へのメッセージ			
講義内容を記憶するだけでなく、理解することが重要。そのための積極的な学習態度を求む。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
身体領域の作業療法第2版	大嶋伸雄（編）	中央法規	5000

コマ	履修内容	教員
1	神経・筋疾患①：ギランバレー症候群	西口
2	神経・筋疾患②：多発性硬化症	西口
3	神経・筋疾患③：重症筋無力症	西口
4	神経変性疾患①：脊髄小脳変性症	西口
5	神経変性疾患②：脊髄小脳変性症	西口
6	神経変性疾患③：脊髄小脳変性症	西口
7	神経変性疾患④：筋萎縮性側索硬化症	西口
8	神経変性疾患⑤：筋萎縮性側索硬化症	西口
9	関節リウマチ①：概要	西口
10	関節リウマチ②：評価	西口
11	関節リウマチ③：介入	西口
12	骨折①：概要と評価	西口
13	骨折②：橈骨遠位端骨折	西口
14	骨折③：下肢の骨折	西口
15	本試験	西口

科目名	身体障害実習Ⅰ		
担当教員	石井 綾子 西館 潤		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
2	通	1	23
履修目的・授業概要			
「身体障害Ⅰ」で学んだ身体障害系の知識をさらに臨床で活用できる知識，技術へと発展させる。特に整形外科，内科系疾患の領域に対する作業療法を学ぶ。			
到達目標			
疾患・障害の特徴に応じた評価方法を選択・実施ができる。評価結果，目標設定，治療・援助方法が論理的な妥当性をもって結びついていること リスクを管理し，治療原理に基づいた作業療法が実践ができる。			
授業の形式・方法			
講義および実習形式			
成績評価の方法・基準			
試験及び講義への出席状況にて判定			
学生へのメッセージ			
実習内容については動きやすい恰好で臨んでください。解剖学や生理学など基本的な知識は必須の内容となります。事前に十分に学習して臨んでください。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
身体障害領域の作業療法	大嶋伸雄	中央法規	
標準作業療法学 身体機能作業療法学	岩崎ル子（編）	医学書院	
フィジカルアセスメント ガイドブック	山内豊明	医学書院	

コマ	履修内容	教員
1	オリエンテーション，身体障害OTの総論	石井
2	身障OT治療原理（関節機能障害の評価）	石井
3	身障OT治療原理（関節機能障害の評価）	石井
4	身障OT治療原理（関節可動域訓練）	石井
5	身障OT治療原理（筋力増強訓練）	石井
6	身障OT治療原理（感覚知覚訓練）	石井
7	リスク管理（OTとリスク管理）	石井
8	痛みに対するOT	石井
9	廃用症候群に対するOT	石井
10	呼吸器疾患に対するOT	石井
11	心疾患，終末期に対するOT	石井
12	<b>オリエンテーション</b> 評価・治療導入場面の演習など	西館
13	<b>呼吸</b> 呼吸評価・聴診・打診・スクイーピング	西館
14	<b>上肢の評価</b> 主に片麻痺の代表例から上肢の評価・治療	西館
15	<b>治療的作業選択①</b> 疾患や症状に合わせて作業を選択する。	西館

コマ	履修内容	教員
16	<b>治療的作業選択②</b> 疾患や症状に合わせて作業を選択する。	西舘
17	<b>基本動作の評価・治療例</b> 基本動作の治療例について	西舘
18	<b>関節拘縮</b> 関節可動域訓練について	西舘
19	<b>歩行</b> 歩行介助・治療介入例	西舘
20	<b>バランス</b> バランスの評価例・BBS	西舘
21	<b>環境面への介入例</b> 環境調整・アフォーダンス	西舘
22	<b>まとめ</b>	西舘
23	<b>試験</b>	石井 西舘
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

コマ	履修内容
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	

科目名	精神障害Ⅰ		
担当教員	河野 仁志		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
2	前	1	15
履修目的・授業概要 精神障害の内実、精神障害者の置かれている現状、精神障害に対する医療・福祉・行政、リハビリテーションと作業療法の概要			
到達目標 精神障害者のおかれている現状を理解し、精神科作業療法の支援の流れを説明できる。			
授業の形式・方法 講義			
成績評価の方法・基準 レポート評価（100％）			
学生へのメッセージ 特別なことはありません。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
なし			

コマ	履修内容	教員
1	精神障害者とはどのような人たちか（1）	河野
2	精神障害者とはどのような人たちか（2）	河野
3	精神障害者とはどのような人たちか（3）	河野
4	精神障害の特徴（1）	河野
5	精神障害の特徴（2）	河野
6	精神障害の特徴（3）	河野
7	精神障害者に対する医療・福祉・行政（1）	河野
8	精神障害者に対する医療・福祉・行政（2）	河野
9	精神障害者に対する医療・福祉・行政（3）	河野
10	リハビリテーションと作業療法（1）	河野
11	リハビリテーションと作業療法（2）	河野
12	リハビリテーションと作業療法（3）	河野
13	精神障害・精神障害者・リハビリテーションに関するグループワーク（1）	河野
14	精神障害・精神障害者・リハビリテーションに関するグループワーク（2）	河野
15	試験	河野

科目名	精神障害実習Ⅰ		
担当教員	三浦 太一		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
2	後	1	23
履修目的・授業概要			
精神障害者に対する歴史的処遇について映像教材を中心に学び、精神障害者への理解と共感的態度を身につける。また、ひとの捉え方や対象者理解や援助について学ぶ。			
到達目標			
1.精神障害者の歴史的背景について述べる事が出来る。			
2.精神障害者に対する作業療法の意義・目的を説明できる。			
3.精神科作業療法の流れを説明できる			
授業の形式・方法			
講義・演習			
成績評価の方法・基準			
レポート評価（80%），参加態度（20%）			
学生へのメッセージ			
精神疾患、精神疾患患者、精神障害者への理解と共感的態度を身につけてもらいたい。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
精神障害と作業療法	山根 寛	三輪書店	4,000

コマ	履修内容	教員
1	精神科作業療法の歴史	三浦
2	〃	三浦
3	映画「パッチ・アダムス」鑑賞	三浦
4	〃	三浦
5	映画「カッコーの巣の上で」鑑賞	三浦
6	〃	三浦
7	映画「ビューティフル・マインド」鑑賞	三浦
8	〃	三浦
9	映画「人生、ここにあり」鑑賞	三浦
10	〃	三浦
11	<b>疾患別作業療法の展開</b> 統合失調症について①	三浦
12	<b>疾患別作業療法の展開</b> 統合失調症について②	三浦
13	<b>疾患別作業療法の展開</b> 統合失調症について③	三浦
14	<b>疾患別作業療法の展開</b> 気分障害について①	三浦
15	<b>疾患別作業療法の展開</b> 気分障害について②	三浦

コマ	履修内容	教員
16	<b>疾患別作業療法の展開</b> アルコール依存症について①	三浦
17	<b>疾患別作業療法の展開</b> アルコール依存症について②	三浦
18	<b>疾患別作業療法の展開</b> パーソナリティ障害について①	三浦
19	<b>疾患別作業療法の展開</b> パーソナリティ障害について②	三浦
20	<b>疾患別作業療法の展開</b> 摂食障害について①	三浦
21	<b>疾患別作業療法の展開</b> 摂食障害について②	三浦
22	関連疾患について①	三浦
23	関連疾患について②	三浦
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

コマ	履修内容
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	

科目名	老年期障害		
担当教員	鈴木 渉		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
2	後	1	15
履修目的・授業概要			
社会の中での高齢者を取り巻く現状を知る.高齢者の特徴を理解する.作業療法士の果たすべき役割と評価・アプローチの視点・手段を学ぶ.			
到達目標			
高齢者領域において作業療法士の果たすべき役割と評価・アプローチの視点・手段を理解する.			
授業の形式・方法			
講義と演習, 発表			
成績評価の方法・基準			
筆記試験100%, 出席率			
学生へのメッセージ			
グループ演習が多い授業のため, 欠席の際には事前に担当教員に連絡すること			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格
高齢者のその人らしさを捉える作業療法	藪脇健司	文光堂	¥6.500
作業療法学全書 老年期第7巻	村田和香	共同医書出版	¥2.800
高齢期障害領域の作業療法	山田孝	中央法規	¥3.800

コマ	履修内容	教員
1	高齢社会	鈴木
2	老年期作業療法の理念と目的	鈴木
3	その人らしさの捉え方	鈴木
4	大切な作業を実現するための方法	鈴木
5	老年期と作業療法	鈴木
6	パーキンソン病	鈴木
7	パーキンソン病	鈴木
8	認知症	鈴木
9	認知症	鈴木
10	高齢者の特徴	鈴木
11	フレイルとサルコペニア	鈴木
12	介護保険における作業療法提供施設とサービス	鈴木
13	介護保険における作業療法提供施設とサービス	鈴木
14	介護保険における作業療法提供施設とサービス	鈴木
15	試験	鈴木

科目名	地域作業療法学実習		
担当教員	川上 和敏		
	実務経験		有
対象学年	講義時期	単位数	コマ数
2	通	1	23
履修目的・授業概要			
障害者や高齢者が住み慣れた環境で生き生きと生活を送るためのOT支援法やその周辺知識について学ぶ。地域包括ケアシステム、介護予防、生活不活発病、MTDLP（生活行為向上マネジメント）について理解を深める。			
到達目標			
地域社会を理解し、他職種との協業や連携を図りながら、生活支援や予防事業を推進する知識・技術・態度を身に付けること。この授業では地域住民に対する「健康体操教室」を担当し、学生が目的や効果を思案して企画、実践を行う。			
授業の形式・方法			
講義、演習、施設実習			
成績評価の方法・基準			
出席状況とレポート課題提出、発表会内容			
学生へのメッセージ			
学内講義、演習以外にフィールドワークとして、旭川市百寿大学との交流会や地域高齢者に対する介護予防体操を実践します。			
<教科書・参考書>			
書名	著者名	発行所	価格

コマ	履修内容	教員
1	<b>高齢者の生活と福祉</b> ・授業オリエンテーション ・現在社会の理解と地域作業療法	川上
2	<b>生活不活発病</b> ・平均寿命と健康寿命 ・フレイルとサルコペニア	川上
3	<b>生活不活発病に関連する疾患</b> ・認知症 ・内部障害	川上
4	<b>生活不活発病の予防法</b> ・地域作業療法 ・リハビリテーション支援事業の取り組み	川上
5	<b>学外実習オリエンテーション</b> ・百寿交流会 ・地域健康体操	川上
6	<b>学内演習（介護予防プログラム）</b> ・健康体操の意義・企画	川上
7	<b>学内演習（介護予防プログラム）</b> ・マルチタスク課題の意義・企画	川上
8	<b>学内演習（介護予防プログラム）</b> ・地域健康体操の企画	川上
9	<b>学内演習（介護予防プログラム）</b> ・地域健康体操の企画	川上
10	<b>学外実習（1回目）シニア大学交流会</b> ・世代間交流 ・レクリエーション	川上
11	<b>学外実習（1回目）シニア大学交流会</b> ・世代間交流 ・レクリエーション	川上
12	<b>百寿大学プレ実習</b> ・地域健康体操の企画	川上
13	<b>学外実習（2回目）神楽百寿大学交流会</b> ・地域健康体操 ・マルチタスク	川上
14	<b>学外実習（2回目）神楽百寿大学交流会</b> ・地域健康体操 ・マルチタスク	川上
15	<b>学内演習（介護予防プログラム）</b> ・学外実習（2回目）の振り返り	川上

コマ	履修内容	教員
16	<b>百寿大学プレ実習</b> ・地域健康体操の企画	川上
17	<b>学外実習（3回目）緑が丘百寿大学交流会</b> ・地域健康体操 ・マルチタスク	川上
18	<b>学外実習（3回目）緑が丘百寿大学交流会</b> ・地域健康体操 ・マルチタスク	川上
19	<b>学内演習（介護予防プログラム）</b> ・学外実習（3回目）の振り返り	川上
20	<b>学外実習（4回目）神楽市民大学交流会</b> ・地域健康体操 ・マルチタスク	川上
21	<b>学外実習（4回目）神楽市民大学交流会</b> ・地域健康体操 ・マルチタスク	川上
22	<b>発表会（介護予防プログラムまとめ）</b>	川上
23	<b>発表会（介護予防プログラムまとめ）</b>	川上
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

コマ	履修内容
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	

